

平成21年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

平成22年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十七条の規定に基づき、平成21年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（平成21年度末現在）

職名	氏名
委員長	上羽敏夫
同職務代理者	岸田薫子
委員	文珠清道
委員	森益美
委員（教育長）	米田敦弘

# 目次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

## I 教育委員会の活動状況 P 1～6

1. 教育委員会の開催状況
2. 教育委員会委員の主な活動

## II 施策の点検・評価 総括表

### 1. 学校教育の充実 P 7～8

- (1) 学校規模の適正化
- (2) 学校教育施設の整備・充実
- (3) 学力向上と心身の育成
- (4) 食育の推進
- (5) 学校、地域の安全確保
- (6) 地域に開かれた学校づくり
- (7) 幼稚園、小学校、中学校の取り組み

### 2. 若者の育成 P 9

- (1) 青少年の健全育成
- (2) まちづくりへの若者の参加促進
- (3) 修学支援

### 3. 社会教育・スポーツの充実 P 9～10

- (1) 社会教育体制の確立
- (2) 図書館ネットワークの確立
- (3) 生涯学習推進体制の整備

### 4. 歴史文化遺産の保全と活用 P 10

- (1) 歴史資料館のネットワーク
- (2) 丹後王国の歴史文化の保存・発信
- (3) 文化財の保存と活用
- (4) 市史編さんの取り組み

## III 平成21年度事務事業評価調書等

(別紙)

事務事業評価調書

学校評価自己評価

京丹後市立幼稚園・学校評価自己評価報告一覧

## 平成21年度の教育活動をふりかえって

京丹後市は平成21年11月21日、京都府丹後文化会館を会場に、本市名誉市民の野村克也氏をお迎えして市制施行5周年記念式典を開催しました。その席上、市の花・木とともに、教育委員会が作成を担当した市の歌（作詞：梅田俊作、作曲：藤原哲也）を発表するとともに、第二部では企画担当してきた記念ステージの上演を行いました。この内容は、古代丹後の繁栄から現代の産業や暮らしまでを、四季折々の自然が見せる豊かな情感あふれた映像や力強い和太鼓演奏などにより構成され、バラエティに富んだものでした。

さて、平成21年度の大きな教育課題は引き続き学校再配置問題で、耐震補強事業をめぐる国の新たな財源措置の動きを背景に、改めて「学校再配置の基本的な考え方」（素案）、及び「学校施設の耐震化計画」（素案）を6月に作成し、この両案をもとに7月から8月にかけて15の会場で地域説明会を開催したほか、秋以降に17学校施設の耐震二次診断を行いました。また、峰山中学校体育館の耐震補強工事を実施するとともに、老朽化した同校スクールバスの更新を行いました。

また学校再配置の動きと並行して、平成21年秋から、小中一貫教育などを始めとする学校教育改革構想の検討に着手し、先進地視察や事例研究を進めてきました。この構想の中間案として「京丹後市の学校教育改革構想～子どもたちの育ちと指導の一貫性をめざして～」を、平成22年5月に公表しています。

なお、一連の学校再配置の動きのなかで、竹野小学校が平成21年度末で閉校となり、平成22年3月27日、学校関係者、行政関係者とともに、地元関係者の皆様が一体となって閉校式を挙行し、同校は136年の長い歴史に幕を閉じました。

学校教育の分野では、初めての幼保一体施設として誕生した丹後子ども園の運営が始まりました。1年間が経過するなか、丹後子ども園の取り組みの実態は、今後の幼稚園設置や保育所再編のあり方、また幼保一体化施設や一元化施設設置の検討を進める上で重要なものと考えます。また、学校内のグループウェアなどの内容を含む学校ICT化事業は、時間的な制約もあり、多くの事業を平成22年度へ繰り越しましたが、学校教育や校務の情報通信化を飛躍的に進めることのできる環境が整ったことで、その施設設備の十全な活用が望まれます。

なお、繰越事業である地域活性化・生活対策臨時交付金事業により、幼稚園、小中学校の施設整備や下水道接続工事を行ったのを始め、社会教育施設設備の

改修を行うとともに、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により、学校耐震化とともに学校の情報通信技術環境の整備（前述）、また懸案であった多くの社会体育施設の整備が大きく進むことになりました。

社会教育の分野では、学校支援地域本部事業を従来から実施していた大宮中学校区、網野中学校区から峰山中学校区へも拡大し、豊かな学校教育の推進のため、さらに多くの学校支援ボランティアの皆様のご協力をいただいています。また、7月1日には6町合併以来の懸案であった市文化協会組織が設立されました。8月には久美浜湾カヌー競技場を会場として、高校「まほろば」総体の一環としてカヌー競技が5日間にわたって開催され、熱戦が展開されました。なお、学校再配置の検討が進むなか、今後の公民館のあり方について市社会教育委員会に諮問し、年度末には中間報告をいただいています。

なお、社会教育の分野で特筆すべきことのひとつとして、本市のご出身でニチコン株式会社の創業者である平井嘉一郎氏（故人）縁の「平井財団設立準備室」から、大宮図書室に初回分として総額およそ150万円相当の幼児児童向け図書や備品等をご寄贈いただきました。特筆すべき他の一件は、平成22年3月21日に挙行了した本市成人式で、著名な作曲家である杉本竜一氏の手になる新曲「Forever」（フォーエヴァー）が世界初演されたことです。杉本竜一さんは本市を現地取材され、この歌を作詞・作曲されました。ここに特記し、改めて平井財団設立準備室関係者各位、また杉本竜一先生に深甚の感謝を申し上げます。

一方、文化財保護の分野では、平成17年度に開始した市史編纂事業の初めての成果物として、『京丹後市の考古資料』（平成20年度繰越事業）、『峯山藩関係文書』の2冊を刊行、また、平成19年度から3ヵ年計画で実施してきた国史跡網野銚子山古墳の範囲確認調査の成果物として『網野銚子山古墳範囲確認調査報告書』を刊行することができました。市史編纂事業はこれから全体計画の後半に入り、今後多くの成果物を出版する運びとなっています。

このように平成21年度も学校再配置を中心として、多くの教育課題に取り組みましたが、市制施行後すでに6年が経過するなか、改めて本市の教育行政全般を見わたし、長期的な将来展望に立った教育改革を進めていかなければならないと考えています。特に学校教育で研究実践を進めようとしている小中一貫教育は、単に学校教育改革にとどまるものでなく、家庭や地域の教育力を再構築する課題であり、教育を中心に据えた本市の新たなまちづくりにつながる大事業でもあるだけに、教育委員会としてしっかりとした基本的な長期展望を示しながらも、教育現場や保護者、また市民の皆様のご意見を十分お聴きしながら、慎重かつ勇猛果敢に取り組んでいきたいと考えています。

平成22年11月

京丹後市教育委員会

## 教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 立命館大学 講師（「教育法規」担当）  
氏名 長野 光孝  
平成 22 年 10 月 28 日

### 2 序論

このほど丹後半島・経ヶ岬など山陰海岸一帯が世界ジオパーク（地質公園）に認定され、「日本列島創成時にできた地球で最も美しい海」として世界中から注目されることになりました。教育では、地質遺産の教材化を図る理科教育・環境教育、国際理解教育の推進が課題となり、教育行政にとっては教育環境・条件の充実、安全対策等が喫緊の課題となりました。

改正教育基本法では、教育の理念と目的を具現化するため、国の教育振興基本計画策定を義務付け、地方教育行政においては、地方分権と地方教育振興の責任について提示しています。

京丹後市教育委員会は、平成 22 年度を「教育改革元年」と位置付け、「ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流の町」にふさわしい教育の環境と条件整備について明らかにしました。これは、本市において教育基本法を具現化する道筋を示したものとして注目されます。

### 3 本論

教育委員会は、本年 5 月「京丹後市の教育構想～子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指して」（中間案）、8 月「京丹後市学校再配置基本計画（案）」、「耐震化対策の基本的な考え方」を提示して、目指す学校教育像と 10 年先を見通した学校再配置及び学校施設耐震化の実施計画を公表しました。市域全体を「学びのミュージアム」として、どこでも、だれでも学べるように学校を再配置し、併せて施設耐震化を進めることは、実に、時宜を得たものと言えます。

学校は、子どもが心と時間にゆとりを持って学べるように配慮され、適正な規模で安全な施設、通学安全保障、ITC 設備、「食育」に必要な給食設備等、教育環境を備えることが必要です。「適正な学校（学級）規模」は、公教育として法令に規定するところであり、特に、「複式学級の解消」は、子ども・保護者の切実な願いであります。学校建築や耐震化の施業にあたっては、地元産材・業者の登用、給食の「地産地消」等、地域経済の振興に十分寄与できるよう配慮することが大切です。学校再配置等について議会・行政関係、教育関係、地域関係団体と協議を重ね、パブリックコメントを集約して市民のコンセンサスを図ってきましたが、その中で、家庭や地域社会が教育上果たすべき役割と責任を明確にすることも必要です。「コミュニティスクール」として、保護者・地域住民を学校運営に参加させて、家庭や地域の教育力を掘り起こして活用することが望まれます。

学校教育の分野では、義務教育修了時を見据えた9カ年の教育課程編制の研究が急がれます。各校の校内研修会の質を高めるとともに、管理職がリーダーシップをとって小中合同研修会等を組織し、各学校の歴史や伝統、小規模校の長所を取り入れた新しい「小中一貫教育プラン」を作成し、試行することが大切です。

子どもが、楽しく生き生き学習し、保護者や地域から信頼される学校をつくるために、例えば、土曜日を授業日にするとか工夫してゆとりを持たせたり、教職員の実践的指導力を高める研修や教材研究の時間を確保して、「絶えず研究と修養に努める」ように意識改革を図ることが必要です。

各校の教育目標や重点項目、学校評価が、画一的・形式的になり、ややマンネリズム化しています。校長は、少子高齢化等激しく変化する地域社会の状況を見据え、目指す子ども像や小中一貫の教育計画を率先して実践し、点検・評価を次の実践に活かして、教職員個々の人間性や社会性、専門性の向上に資することです。教育委員会は、研修費や時間・出張を保障し、特色ある取組や実践で成果を挙げた学校を積極的に評価し、地域社会にも広報普及して「学校を開く」ことが求められます。

社会教育の分野では、学校支援地域本部事業が充実し、学校支援ボランティアが拡大しました。さらに、各地域に「人材バンク」等ボランティア網をめぐらせ、学校のキャリア教育に連携させて活用すること、また、市立図書館と学校図書館を連携させ、親・子の読書活動を進めて、家庭・地域ぐるみで子どもの「豊かな心」を培うことです。

社会体育や高校「まほろば」総体カヌー大会等、熱戦が展開されましたが、ボランティアの活用で運営の効率化・経費節減等の工夫や改善が必要です。

文化財保護の分野では、「京丹後市の考古資料」等市史編纂事業が順調に進捗していますが、文化財を守る会や郷土史研究会等、地域の自主的な活動や活力を取り入れることが重要です。本市の豊富な文化遺産、天然記念物、自然遺産の保全・保護に万全を期すとともに、「学びのミュージアム」として生涯学習の基盤に据えて教材化し、子どもからお年寄りまで、学校・社会教育の場で活用することが重要です。観光資源としてのさらなる開発・啓発も大切です。

#### 4 総括

本年度は、「21世紀の京丹後市教育」の出発点となりました。教育委員会は、教育の現場や地域に足しげく出向き、市民・保護者の息づかいや願いをくみ取りながら意見を十分聞いて新しい京丹後教育を創造し、本市から世界にはばたく人材の育成に向けて、学校づくりとまちづくりを果敢に指導されるよう希望します。

## 教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 玉川大学教育学部 教授  
氏名 寺本 潔  
平成 22 年 11 月 6 日

### 2 序論

地方自治体の教育行政においては、少子高齢化の波の中、財政的にも厳しさを増しつつあり、学校の建て替えや教育の質保証の点で不断の努力を要する時代となっている。当市においても校舎の耐震補強事業も伴った学校再配置計画の立案と実施に大変な苦勞をされていると思われるが、そうした中にあっても実に様々な事業に取り組んでおられる。外部評価委員として京丹後市を訪問したのは数年前であるため、最近の実態に関しては詳しくないが、反面客観的な立場から評価を下すことに努めた。

### 3 本論

#### (1) 教育委員会議の開催状況等

毎月開催され、必要に応じて臨時会も開催されている。スポーツや文化面の様々な事業の「後援について」が議案の大半を占めているが、教育委員会主催の教育・子育て・まちづくりなどをテーマにしたシンポジウム事業はないのか。広域化した市域の市民意識を高め、市民参画による教育を推進する上でも今後期待したい。

#### (2) 学校再配置検討状況等

学校の適正規模や再配置基本方針が明確に決められており、真摯な姿勢で取り組まれている。児童生徒数の推計や地理的条件などを考慮しながら、今後も進めてもらいたい。資料 3 と 4 にある跡地利用や学校づくり準備協議会の中身はよく検討されている。再配置基本計画として十分練られていると判断した。

#### (3) 学校評価

「具体的方策」や「成果と課題（自己評価）」の欄にやや学校ごとに記述のディテールの差が目立つ。教育指導の改善に向けた具体的な方策を詳細に書く学校と曖昧な記述で終わっている学校がある。「本年度学校経営の重点（短期経営目標）」の記述も項目が少なく、具体性に欠けた学校が散見される。学校ごとに目標設定や方策案の差異が目立たないように一定の水準を確保するための共通意識化を図る必要がある。

#### (4) その他

「施策の点検・評価・総括表」を点検したが、自己評価の目標達成度に×記がほとんどなく、改善欄の事業内容の方向性においても A 評価が大半であるのは大変評価できる。「平成 21 年度事務事業評価調書等」を点検したが、効率性の欄の「コスト削減の余地がなかったか」の「理由」欄の記述も具体的であり、少ない予算を切り詰めて実施している様子が伝わってくる。

#### (5) 社会教育活動、文化財保護行政、社会体育等



各種社会教育事業の参加者数を点検したが、6人～1人の範囲内で報告されている事業が数件みられた。過疎地域も抱えているとはいえ、これほど少ない参加者であるのは、開催日に問題があったのか、他の事業との重複があったのか、要検討ではないだろうか。文化財保護や社会体育に関しては、よく取り組まれている。とりわけ、京丹後市史刊行記念シンポジウムや文化財セミナーの開催は合併した市にとっては自市意識を醸成する上で大切な取組と言える。

#### 4 総括

今回は、大変資料も見やすく、書式も整理されていた。『京丹後市の学校教育改革構想～子どもたちの育ちと指導の一貫性をめざして』（中間案）も添付され、前向きで明るい印象を得た。今後の教育行政は財政的には厳しさを増すが、知恵と行動力でユニークな動きを持った自治体として成長してもらいたい。

#### 5 総合評価

大部にわたる資料を拝見したが、教育委員会活動として概ね妥当な事業運営に努めていると評価できる。一部に改善の必要がある箇所を指摘したが、広域の市域をもっているにも関わらず、税収においては厳しい現状であるため、理想と現実のはざままで苦慮されているのではないか。周辺自治体も同様な悩みを持っていると思われるが、是非、京丹後市独自の動きを進めてほしい。例えば、歴史に詳しい「京丹後市博士」の方々を観光ガイドや学校教育のゲストティーチャーとして登用するしくみも今後検討してはどうだろうか。

観光庁では、観光まちづくりのプラットホームづくりを来年度より開始するようである。従来の観光協会の業務とは別に地域づくりに直結する作業課題の洗い出しを求め、モデル地区において先行実施すると聞いている。京丹後市においても国のこうした動きを察知し、「学びのミュージアム推進プロジェクト構想」も収益性も見据えた観光まちづくりと絡めた新たな発想に基づく事業として改良していったらどうか。

『京丹後市の教育』の「発刊のことば」の中で教育長が述べておられるように長期的な将来展望に立った教育改革に向けて一歩を踏み出す時期に来ているように思われる。例えば、豊富な食材を生かした物産展と食育、埋蔵文化財を生かした日本史のふるさとづくり、湾を生かしたカヌーによるエコツーリズムなど、持続可能な観光を絡めた地域づくりを生涯学習や学校教育の題材にできないだろうか。学校教育の振興においても京丹後市の特性（よさ）を市民がもっと自覚し、次世代育成も地域からという発想で取り組んでももらいたい。また統廃合後の教育についても、単に学級定数の確保という点で安堵するのではなく、ICTなども導入し、先進的に改革してほしい。

## I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（平成21年4月～平成22年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、平成21年度は合計15回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・ 12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・ 3回

○平成21年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
21.4.3	4月定例会	40	第64回国民体育大会カヌー競技（カヌースプリント）京都府代表選手選考会に係る共催について
		41	デフ・パペットシアター・ひとみによる「はこ／BOXESじいちゃんのオルゴール」京丹後公演に係る後援について
		42	平成21年度 北丹陸上競技協会主催競技会（丹後地方小学生陸上競技大会・北丹地方陸上競技選手権大会・北丹地方駅伝競走大会）に係る後援について
		43	「第2回小学生ウルトラクイズIN京丹後」（仮称）に係る後援について
		44	第3回網野グリーンカップ少年サッカー大会 U-10に係る後援について
21.5.7	5月定例会	45	第33回京都府北部児童・少年少女合唱団交歓演奏会に係る後援について
		46	大正琴コンサートに係る後援について
		47	「地球のステージ」教育公演（ライブコンサート）に係る後援について
		48	第30回みねやまさつき展に係る後援について
		49	第14回ランドシニアゲートボール大会に係る後援について
		50	第24回京丹後市ゲートボール選手権大会に係る後援について
		51	第39回京都府剣道道場連盟丹後地区少年剣道錬成大会に係る後援について
		52	専決処分の承認について（橘ジュニアバレーボールクラブ開設30周年記念大会に係る後援）
		53	「砂場で遊ぶ」丹後の子育て支援事業に係る後援について
21.6.17	6月定例会		大宮中学校 公開授業の参観について
			委員長の選挙について（上羽 敏夫 氏） 21.7.8～1年間
			委員長職務代理者の選挙について（岸田薫子氏） 21.7.3～1年間
		54	京丹後市社会教育委員の解嘱について
		55	平成21年度社会福祉体験学習に係る後援について
		56	第23回網野カップ少年サッカー大会に係る後援について
		57	第11回羽衣交流グラウンド・ゴルフ大会in京丹後市に係る後援について
		58	第42回峰山スポーツ祭典に係る後援について
		59	第13回京丹後市ソフトバレーボール大会に係る後援について
		60	弥栄町青少年をそだてる会事業に係る後援について
		61	京都サンガF.C. ビーチサッカーフェスタ2009in網野に係る後援について
		62	「京セラミタ・京都サンガF.C.」ふれあいサッカー教室に係る後援について
		63	「京セラミタ・京都サンガF.C.」キッズふれあいサッカー教室に係る後援について
		64	第20回丹後中学女子ソフトボール大会に係る後援について
		65	第60回京都府学校農業クラブ連盟大会に係る後援について
		66	ポップスコンサート in 網野に係る後援について
67	専決処分の承認について（平成21年度丹後ブロック中学校陸上競技選手権大会に係る共催）		
68	専決処分の承認について（京丹後市装道と装礼法子ども教室に係る後援）		

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
21.6.17	6月定例会	69	専決処分の承認について（キッズ（U-6/U-8）サッカーフェスティバルin八丁浜に係る後援）
		報告 4	京丹後市学校再配置基本計画（素案）について
		報告 5	京丹後市立学校施設の耐震化計画（素案）について
		70	京丹後市社会教育委員の委嘱について
21.7.8	7月定例会	71	フェスタ「飛天」2009 in 京丹後に係る共催について
		72	夏休みジュニアゲートボール教室に係る後援について
		73	第5回京丹後市長杯争奪学童野球大会に係る後援について
		74	女性講演会に係る後援について
		75	夏休み子どもゲートボール教室に係る後援について
		76	第12回あみの八丁浜ロードレース大会に係る後援について
		77	第5回京丹後市総合体育大会に係る後援について
		報告 6	扶桑社版中学校歴史ならびに公民教科書、および自由社版中学校歴史教科書を採択しないことを求める陳情書について
21.8.10	8月定例会	78	平成22年度使用小学校教科用図書の採択について
		79	平成22年度使用中学校教科用図書の採択について
		80	京丹後市公民館条例の一部改正について
		81	京丹後市就学指導委員会規則の一部改正について
		82	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 峰山町教職員球技大会事業に係る共催について
		83	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 大宮町教職員球技大会事業に係る共催について
		84	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 網野町教職員球技大会事業に係る共催について
		85	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 丹後町教職員球技大会事業に係る共催について
		86	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 弥栄町教職員球技大会事業に係る共催について
		87	平成21年度京都府教職員互助組合京丹後市ブロック 久美浜町教職員球技大会事業に係る共催について
		88	宝くじ文化公演「グレン・ミラーオーケストラ演奏会」に係る共催について
		89	ミュージックフェスティバルin久美浜2009に係る後援について（不承認を求める）
		90	第33回丹後中央ライオンズクラブ学童野球大会に係る後援について
		91	第8回京丹後市ジュニアゲートボール大会に係る後援について
		92	橘少年野球教室創立30周年記念野球大会に係る後援について
		93	京丹後市商工会青年部 地域貢献事業「（仮）親子参加ふるさと清掃大作戦 ～親子で知ろう ふるさと海～」に係る後援について
		94	専決処分の承認について（平成21年度第62回京都府中学校総合体育大会に係る共催）
		95	専決処分の承認について（第一回峰山柔道教室絆杯柔道大会に係る後援）
		96	専決処分の承認について（第48回丹後町少年剣道教室練成大会に係る後援）
		97	専決処分の承認について（カヌーでGO!!「竹野川クリーン作戦」に係る後援）
98	部落解放第13回京都府「同和」保育研究集会に係る後援について		
報告 7	財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について		
99	京丹後市立学校条例の一部改正について		
100	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正について		
21.9.9	9月定例会	101	平成21年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
		102	京丹後市立学校通学区区域規則の一部改正について
		103	第19回（平成21年度）丹後ブロック中学校駅伝競走大会に係る共催について
		104	第29回（平成21年度）京丹後市小学生バレーボール大会に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
21.9.9	9月定例会	105	「第3回 安養寺蠟燭能」及び「わかる・楽しい能楽体験講座」に係る後援について
		106	第28回「やさか芸能の夕べ」に係る後援について
		107	平成21年度京都府小学校教育研究会 健康安全教育研究大会に係る後援について
		108	「自然に暮らす ～丹後からはじまるもうひとつの生き方」シンポジウムに係る後援について
		109	第42回京丹後市小学校特別支援学級ふれあい交流会に係る後援について
		110	モラロジー生涯学習セミナーに係る後援について
		111	2009年かがやきの杜ふれあいフェスタに係る後援について
		112	第1回京丹後市車いす駅伝大会に係る後援について
		113	平成21年度京都府中学校教育研究会英語科研究大会に係る後援について
		114	第5回京丹後ボーイズ親善大会に係る後援について
		115	平成21年度京丹後市網野文化祭に係る後援について
		116	平成21年度京丹後市久美浜町文化祭に係る後援について
		117	平成21年度丹後町文化祭に係る後援について
		118	平成21年度大宮町文化祭に係る後援について
21.10.6	10月定例会	122	京丹後市立学校勤務府費負担教職員の旧姓使用取扱要綱の制定について
		123	京丹後市小・中学校音楽フェスティバルに係る共催について
		124	第18回京丹後市小学校駅伝競走大会に係る共催について
		125	第2回「京丹後市・木津川市」友好都市少年少女合唱団交歓演奏会に係る後援について
		126	丹後吹奏楽団第21回定期演奏会に係る後援について
		127	第14回京丹後市ソフトバレーボール大会に係る後援について
		128	第3回ドコバレー杯 ソフトバレーボール交流会に係る後援について
		129	平成21年度京丹後市PTA協議会研究大会に係る後援について
		130	第46回弥栄町文化祭に係る後援について
		131	第35回丹後町地区対抗駅伝競走大会に係る後援について
		132	第25回小学生駅伝大会に係る後援について
		133	第1回 浦島カップin網野 少年サッカー大会U-11に係る後援について
		134	JFAキッズ(U-6/U-8)&レディース/ガールズ サッカーフェスティバル2009 & JFAファミリーフットサルフェスティバル2009に係る後援について
		135	第18回上山杯争奪少年少女柔道大会に係る後援について
136	第18回中野真理子杯 京丹後市小学生バレーボール大会(新人大会)に係る後援について		
137	専決処分の承認について(網野体育センター剣道室での事故に係る損害賠償)		
21.11.5	11月定例会	138	学校給食業務の運営方針について
		139	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
		140	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		141	第44回大宮町一周駅伝競走大会に係る後援について
		142	平成21年度京都府社会教育研究大会に係る後援について
21.11.18	11月臨時会	143	平成20年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		144	街づくり講演会及び衣のまほろば「藤の郷」植樹祭に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
21.12.2	12月定例会	145	第29回「京都新聞書き初め展」に係る後援について
		146	第4回京丹後市新春ソフトバレーボールフェスティバルに係る後援について
		報告 8	平成21年度 学校ICT環境整備事業の概要について
		147	教育委員会事務局職員の処分について
22.1.4	1月定例会	1	京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方に係る諮問について
		2	平成21年度京丹後市指定文化財に係る諮問について
		3	京丹後市指導主事の設置、服務等に関する規則の一部改正について
		4	京丹後市社会教育指導員規則の一部改正について
		5	京丹後市就学困難な幼児、児童及び生徒の援助に関する規則の一部改正について
		6	平成21年度大宮児童合唱団定期演奏会に係る後援について
		7	第42回全国子どもの本と児童文化講座<豊岡・城崎大会>に係る後援について
		8	峰山少年少女合唱団第31回定期演奏会に係る後援について
		9	京丹後市 第15回カニの町「丹後町」親善ゲートボール大会に係る後援について
		10	高松宮賜杯 第54回全日本軟式野球大会（1部）に係る後援について
		11	第24回丹後スキー大会に係る後援について
		12	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会事務局職員の管理職人事）
22.2.5	2月定例会	13	平成22年度「指導の重点」について
		14	平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について
		15	京丹後市公民館条例の一部改正（改正内容の追加変更）について
		16	網野高等学校「第37回美術・書道作品展」に係る後援について
		17	第6回京丹後市少年剣道大会（杉本杯）に係る後援について
		18	ドリームコンサートに係る後援について（不承認を求める）
		19	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		20	次代へ残す鳴き砂の琴引浜「松の植樹事業」に係る後援について
		21	京丹後 かにかにフットサルか〜にバルに係る後援について
22.2.24	2月臨時会	22	教育予算（第8号補正）及び平成22年度教育予算について
		23	京丹後市教育委員会事務局職員の管理職（課長以上）人事について
		24	平成22年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		25	京丹後市教育委員会補職名規則の一部改正について
		26	久美浜児童合唱団第7回スプリングコンサートに係る後援について
		27	第21回丹後サッカーフェスティバルに係る後援について
		28	第6回マルハンカップ少年野球大会に係る後援について
		29	専決処分の承認について（KIT科学教室in京丹後に係る後援）
		報告 1	奥丹後地方教職員組合からの休憩時間の確保に関わる申し入れについて
22.3.4	3月臨時会	30	京丹後市教育委員会事務局職員の一般職及び課長補佐（相当職を含む）人事について
22.3.10	3月定例会	31	平成22年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		32	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		33	京丹後市スポーツ振興審議会委員の委嘱について
		34	京丹後市図書館協議会委員の任命について
		35	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
22.3.10	3月定例会	36	京丹後市指導主事の任命について
		37	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
		38	京丹後市地域公民館長の任命について
		39	京丹後市立資料館長の委嘱について
		40	京丹後市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について
		41	京丹後市立学校勤務府費負担教職員公益通報取扱規程の制定について
		42	2010ウエスタンリーグ公式戦に係る後援について
		報告 2	第1回平井嘉一郎文庫記念事業「作文コンクール」の実施について
		43	京丹後市立学校セクシュアル・ハラスメント防止要綱の一部改正について

## 2. 教育委員会委員の主な活動

月	月 日	件 名	場 所
4 月	H21. 4. 6	第 2 回教育委員協議会（学校再配置計画ほか）	大宮庁舎
	H21. 4. 22	第 3 回教育委員協議会（学校再配置計画ほか）	大宮庁舎
	H21. 4. 30	教育委員と市長との懇談会（当面する教育課題）	峰山庁舎
5 月	H21. 5. 7	丹後地方教育委員連合会 総会・研修会（講演）	大宮庁舎
	H21. 5. 8	市議会臨時議会	峰山庁舎
	H21. 5. 18	第 4 回教育委員協議会（新型インフルエンザ等）	大宮庁舎
	H21. 5. 29	市議会6月定例会（本会議、予算審査特別委員会）	峰山庁舎
6 月	H21. 6. 16	市議会全員協議会	峰山庁舎
	H21. 6. 17	公開授業参観	大宮中学校
8 月	H21. 8. 20	市議会全員協議会	峰山庁舎
	H21. 8. 25	第 5 回教育委員協議会（竹野小学校再配置問題ほか）	大宮庁舎
9 月	H21. 9. 2	市議会 9 月定例会（本会議、一般質問、決算審査特別委員会）	峰山庁舎
	H21. 9. 6	第 5 回京丹後市総合体育大会	途中ケ丘公園
1 0 月	H21. 10. 6	第 6 回教育委員協議会（今後の学校給食のあり方）	大宮庁舎
	H21. 10. 14	平成 2 1 年度近畿市町村教育委員研修大会	神戸市
	H21. 10. 21	平成 2 1 年度丹後地方教育委員連合会教育委員等研修	兵庫県 多可町教育委員会
	H21. 10. 22～23	平成 2 1 年度近畿都市教育長協議会研究協議会	福知山市
	H21. 10. 24	第 1 8 回京丹後市小学校駅伝競走大会	峰山途中ケ丘運動公園
1 1 月	H21. 11. 4	平成 2 1 年度京都府内市町教育委員研修会	京都市
	H21. 11. 5	第 7 回教育委員協議会（平成 2 0 年度教育委員会活動の点検及び評価）	大宮庁舎
	H21. 11. 11	平成 2 1 年度京丹後市戦没者追悼式	丹後文化会館
	H21. 11. 18	教育委員管外視察研修（小中一貫実施校の視察）	宇治市教育委員会
	H21. 11. 19	平成 2 1 年度市町村教育委員会研究協議会（第 2 ブロック）、第 8 回教育委員協議会	大津市、大宮庁舎
	H21. 11. 21	京丹後市 市制五周年記念式典	丹後文化会館
	H21. 11. 25	市議会臨時議会	峰山庁舎
	H21. 11. 26	教育委員と中学校校長会との懇談（中学校の課題と取組状況）	大宮庁舎
1 2 月	H21. 12. 1	市議会 1 2 月定例会（本会議、一般質問）	峰山庁舎
	H21. 12. 2	教育委員と小学校校長会との懇談会、第 9 回教育委員協議会	大宮庁舎
	H21. 12. 16	第 1 0 回教育委員協議会（全国学力・学習状況調査）	大宮庁舎
1 月	H22. 1. 4	新春賀詞交歓会	大宮庁舎
	H22. 1. 8	教育委員と中学校校長会との懇談会	市内
	H22. 1. 25	平成 21・22 年度 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」、平成 21・22 年度 京丹後市教育委員会研究指定校 公開事業及び講演会	弥栄中学校 弥栄地域公民館
2 月	H22. 2. 3	市議会臨時議会	峰山庁舎
	H22. 2. 4	教育委員と小学校校長会との懇談	大宮庁舎
	H22. 2. 5	教育委員と市長との懇談会	大宮庁舎
3 月	H22. 3. 2	市議会 3 月定例会（本会議、一般質問、予算審査特別委員会）	峰山庁舎
	H22. 3. 21	京丹後市成人式	丹後文化会館
	H22. 3. 24	市議会全員協議会	峰山庁舎



## Ⅱ 施策の点検・評価 総括表

(施策の点検・評価 総括表 説明資料)

1. 自己評価区分

ア 目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進歩したか

○ 進歩している(できている)
▲ 少し遅れている(少しできていない)
× 遅れている(できていない)

イ 効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

○ 削減の余地がなかった
▲ 少し削減の余地があった
× 削減の余地があった

2. 事業内容の方向性

A 現状維持
B 内容の見直し
C 統廃合・休止・終了

3. 事業規模の方向性

A 事業拡大
B 現状維持
C 事業縮小

## II 施策の点検・評価 総括表

施策 分類1	施策 分類2	整理番号	事務事業の名称	自己評価		改善		
				目標達成度	効率性	事業内容の 方向性	事業規模の 方向性	
1 ・ 学校 教育 の 充 実	(1) 学校規模の適正化							
	(2) 学校教育施設の整備・充実	教総5	小学校施設改修事業	▲	○	A	A	
		教総6	小学校施設耐震診断事業	○	○	A	B	
		教総12	小学校施設管理事業	▲	○	A	A	
		教総13	中学校施設改修事業	▲	○	A	A	
		教総14	中学校施設耐震化事業	○	○	A	A	
		教総15	中学施設管理事業	▲	○	A	A	
		教総16	幼稚園施設改修事業	▲	○	A	A	
		教総17	幼稚園施設管理事業	▲	○	A	A	
		学教6	学校情報化推進事業	○	○	B	A	
		学教8	小学校管理運営事業	○	○	A	B	
		学教14	中学校管理運営事業	○	○	A	B	
		(3) 学力向上と心身の育成	教総4	外国語指導助手招致事業	○	○	A	B
			学教1	指導主事設置事業	○	○	A	A
			学教2	学校保健事業	○	○	A	B
			学教3	学校医委嘱事業	○	○	A	B
			学教4	学務経費	○	○	A	A
			学教7	教科用図書採択事業	○	○	A	B
			学教9	児童教職員健康管理事業	○	○	A	B
			学教10	小学校教育振興事業	○	○	A	B
			学教11	小学校教育振興備品整備事業	○	○	A	B
			学教12	小学校就学援助事業	○	○	B	A
			学教13	小学校教育推進事業	○	○	A	B
			学教15	生徒教職員健康管理事業	○	○	A	B
			学教16	中学校教育振興事業	○	○	A	B
			学教17	中学校教育振興備品整備事業	○	○	A	B
			学教18	中学校就学援助事業	○	○	B	A
			学教19	中学校教育推進事業	○	○	A	B
			学教20	幼稚園運営管理事業	○	○	A	A

施策 分類1	施策 分類2	整理番号	事務事業の名称	自己評価		改善	
				目標達成度	効率性	事業内容の 方向性	事業規模の 方向性
		学教21	園児等健康管理事業	○	○	A	B
	(4) 食育の推進	学教22	網野給食センター管理運営事業	○	○	A	B
		学教23	小学校給食管理運営事業	○	○	A	B
		学教24	中学校給食管理運営事業	○	○	A	B
		学教25	幼稚園給食管理運営事業	○	○	A	B
		学教26	地元農産物給食利用促進支援事業	○	○	A	B
		学教27	学校給食地場農畜産物利用拡大事業	○	○	C	C
	(5) 学校、地域の安全確保	教総8	小学校スクールバス運行管理事業	○	○	A	A
		教総9	小学校スクールバス購入事業	○	○	A	A
		教総10	中学校スクールバス運行管理事業	○	○	A	A
		教総11	中学校スクールバス購入事業	○	○	A	A
		学教5	学校安全対策事業	○	○	A	A
	(6) 地域に開かれた学校づくり		(7) の項目で個別掲載				
		社会12	学校支援地域本部事業	○	▲	A	B
	(7) 幼稚園、小学校、中学校 の取り組み		幼稚園 3園				
			小学校 31校				
			中学校 9校				

施策分類1	施策分類2	整理番号	事務事業の名称	自己評価		改善	
				目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性
2 若者の育成	(1) 青少年の健全育成	社会4	青少年教育事業	▲	○	A	A
		社会9	家庭教育事業	○	○	A	A
		社会37	青少年スポーツ教室事業	○	○	A	B
	(2) まちづくりへの若者の参加促進	社会3	成人式開催事業	○	○	A	B
	(3) 修学支援	教総 3	奨学金給付等事業	○	○	A	B
3 社会教育・スポーツの充実	(1) 社会教育体制の確立	社会1	社会教育委員設置事業	▲	○	A	A
		社会2	社会教育指導員設置事業	○	○	A	B
		社会13	峰山地域公民館管理事業	×	○	A	A
		社会14	大宮地域公民館管理事業	○	○	A	B
		社会15	網野地域公民館管理事業	○	○	A	B
		社会16	丹後地域公民館管理事業	▲	○	A	B
		社会17	弥栄地域公民館管理事業	▲	○	A	A
		社会18	久美浜地域公民館管理事業	○	○	A	B
		社会19	峰山地域公民館運営事業	○	○	A	A
		社会20	大宮地域公民館運営事業	○	○	B	A
		社会21	網野地域公民館運営事業	○	○	B	B
		社会22	丹後地域公民館運営事業	○	○	B	A
		社会23	弥栄地域公民館運営事業	○	○	A	A
		社会24	久美浜地域公民館運営事業	○	○	B	A
		社会25	地区公民館管理運営事業	○	○	A	B
		社会27	峰山いさなご施設管理運営事業	○	○	B	B
		社会28	マスターズビレッジ管理運営事業	○	○	B	B
		社会29	たちばな会館管理運営事業	○	○	A	B
		社会30	網野教育会館管理運営事業	○	○	B	B
		社会31	体育指導委員活動事業	○	○	A	B
		社会32	社会体育団体育成事業	○	○	A	B
		社会33	保健体育総務一般経費	○	○	A	B
		社会34	京都府民総合体育大会事業	○	○	A	A
		社会35	市民体育大会事業	○	○	A	B
		社会38	全国高等学校総合体育大会開催事業	○	○	C	B

施策分類1	施策分類2	整理番号	事務事業の名称	自己評価		改善		
				目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
		社会39	体育施設管理運営事業	○	○	A	B	
		社会40	社会体育用学校開放施設管理運営事業	○	○	A	B	
	(2) 図書館ネットワークの確立	社会26	図書館管理運営事業	○	○	A	A	
	(3) 生涯学習推進体制の整備	社会5	障害者教育事業	▲	○	B	A	
		社会6	成人教育事業	○	○	A	B	
		社会7	女性教育事業	▲	○	A	B	
		社会8	高齢者教育事業	▲	○	A	A	
		社会10	芸術文化事業	○	○	B	A	
		社会11	人権教育事業	▲	○	B	B	
		社会36	地域スポーツ振興事業	○	○	A	B	
	4 歴史文化遺産の保全と活用	(1) 歴史資料館のネットワーク	文化1	郷土資料館管理運営事業	▲	○	A	A
			文化2	古代の里資料館管理運営事業	▲	○	A	A
文化3			指定管理施設運営事業	○	○	A	A	
(2) 丹後王国の歴史文化の保存・発信		文化10	遺跡整備事業	▲	○	B	A	
(3) 文化財の保存と活用		文化4	文化財保護審議会委員設置事業	○	○	A	B	
		文化5	文化財保護啓発事業	○	○	A	A	
		文化6	指定文化財等補助金	▲	○	A	B	
		文化7	史跡等維持管理事業	○	○	A	B	
		文化9	文化財整理事業	○	○	A	B	
		文化11	遺跡発掘調査事業	▲	○	B	B	
		文化12	稲葉家資料展示活用事業	○	○	A	B	
		文化13	文化財保護一般経費	▲	○	B	A	
(4) 市史編さんの取り組み	文化8	市史編さん事業	○	○	A	B		

### Ⅲ 平成21年度事務事業評価調書等

(事務事業評価調書の自己評価等区分 説明資料)

1. 自己評価区分

ア 目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進歩したか

○ 進歩している(できている)
▲ 少し遅れている(少しできていない)
× 遅れている(できていない)

イ 効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

○ 削減の余地がなかった
▲ 少し削減の余地があった
× 削減の余地があった

2. 事業内容の方向性

A 現状維持
B 内容の見直し
C 統廃合・休止・終了

3. 事業規模の方向性

A 事業拡大
B 現状維持
C 事業縮小